

〔活動報告 2011. 5. 25〕

佐倉市・酒々井町清掃組合と印旛衛生施設管理組合を行政視察。

佐倉市、酒々井町清掃組合は酒々井町墨に在所。



(清掃ピット)

清掃ピット

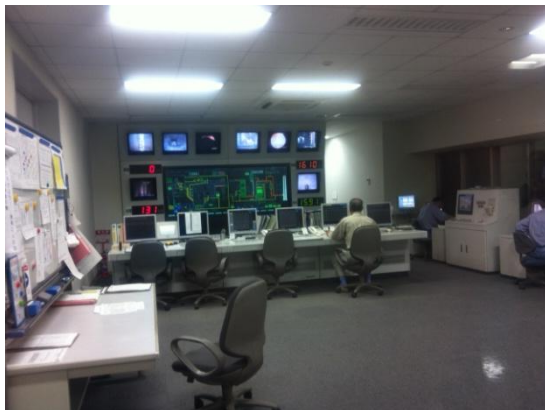
1.8 トンつかめるクレーン

中央制御室

正面パネル右下数字は焼却蒸気利用  
の発電量

左下数字は売電量

発電した電気を施設で利用し、余剰分  
を売っています。



(中央制御室)

右端の二人はクレーンを遠隔操作中。

粗大ごみは破砕機で碎き、鉄、アルミは  
選別してリサイクル。

最終処分場は残り四分の一で満杯にな  
ります。

蛍光灯 (委託費 ¥58/kg) は北海道、乾  
電池 (委託料 ¥103/kg) は倉敷の業者に  
委託し年間約 ¥500 万のコスト。

家庭では、「分ければ資源 混ぜればゴミ」を合言葉に、さらなる分別を！

〔活動報告 2011. 5. 25〕

佐倉市宮本にある印旛衛生施設管理組合・し尿の資源循環汚泥再処理センターは、



佐倉市、四街道、八街市、富里市、酒々井  
町で 10%均等負担と 90%搬入割合によっ  
て運営されています。

ここで処理された汚泥から出来たたい肥は、  
自家菜園の方にはおなじみで、月水金の 8:  
30~無料配布されています。

アルカリ性でゼオライトも含まれているので、  
人気が高く毎回 70 名~100 名くらいの方  
が 3 袋を上限に受け取りにみえ、有料化し

たらとご意見がたくさん寄せられるそうですが、有料化している他地域施設は余ってしまい、その処分費がかえってかかる事を考えると現状のままいくとのこと。

そもそも、し尿の処理施設だと県国からの補助金が出ず、再処理・循環型（たい肥に rebirth) 施設なので

建築費 5.7 億円の内、補助金が国から 1.5 億円、県から 1.5 億円出ました。

H22 年度は 42,677kl のし尿を処理、¥6000/kl コストがかかっています。

最新技術で悪臭もまったくないが、これからの課題は節電対策。

24 時間稼働で、電気を止めればたちまち悪臭が漂うことに・・・

いずれの施設も税収減の中、今後の運営は並大抵ではいけない。

### 〔活動報告 2011.05.31〕

佐倉市・八街市・酒々井町消防組合 佐倉市・四街道市・酒々井町葬祭組合

西志津本昌寺霊園と移転代替地の下志津・畔田を視察。



あと 120M が、つながらない。

本昌寺を突っ切る都市計画道路勝田台・長熊線（延長 13km）予定地と下志津・畔田の移転代替地を視察。

西志津から勝田台方面に行くときは、迂回して細い道を車、徒歩、自転車が行き交い、交通事故も多い。

あと 120M でつながる・・・のに、

昭和 63 年 6 月に本昌寺の墓地移転のための任意団体志津霊園墓地移転対策協力会に移転補償金 15 億 3200 万円を支払ったものの、多額の使途不明金を発生させ、墓地移転事業が中断したことから始まっています。



移転代替地の造成進捗状況は、志津霊園対策室ホームページに載っています。

<http://www.city.sakura.lg.jp/sizreien/index.htm>

志津霊園対策室の設置目的にある通り、「道路開通」と「損害回復」を切り離し、並行して進め、現予定平成 27 年に志津霊園問題解決につなげたい。

紆余曲折あったものの、本昌寺墓地使用者

368 区画のうち、348 区画の方が移転補償契約締結に至っている。

土地もまだ未買収地があるので、まだまだ気が抜けない。